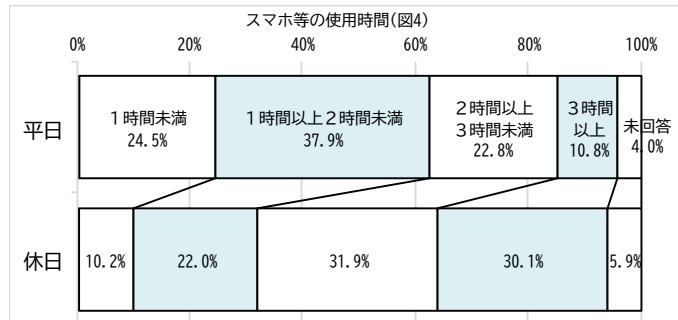
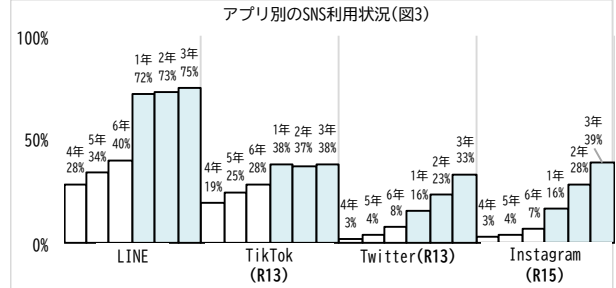
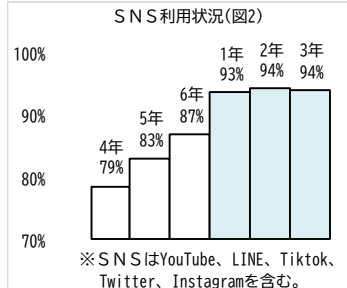
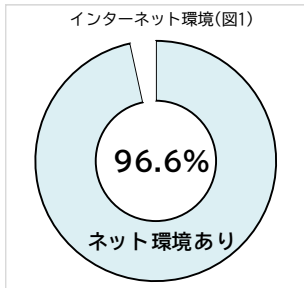


江別市の児童生徒（小4～中3）のスマホ等の使用状況について

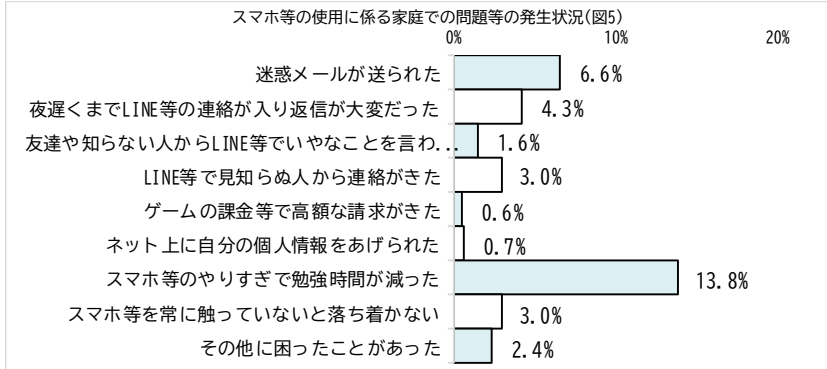
児童生徒のネット環境・使用状況



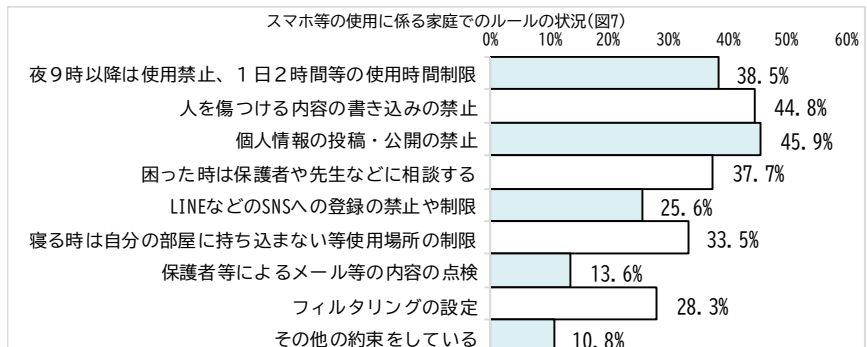
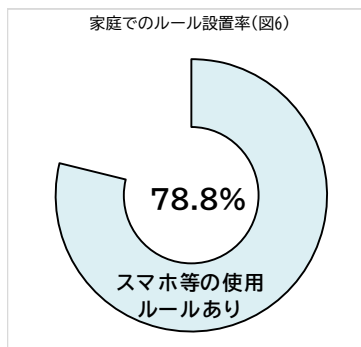
- ・96.6%が家庭でネットに接続できる(図1)
- ・約80%以上がSNSを利用。年齢制限を超えて利用する児童生徒が一定数いる(図2・3)
- ・60%以上が休日に2時間以上スマホ等を使用している(図4)

児童生徒がスマホ等の使用で困ったこと

- ・13.8%が「スマホ等のやりすぎで勉強時間が減った」と回答。特に、昨年度と比べて小学生の回答が減少し、中学生の回答が増加している。



スマホ等の使用に係る家庭でのルール状況

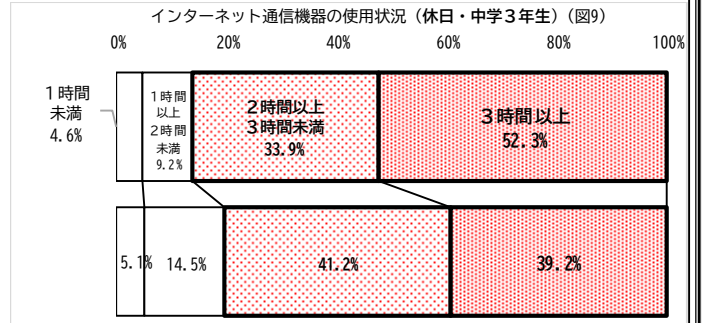
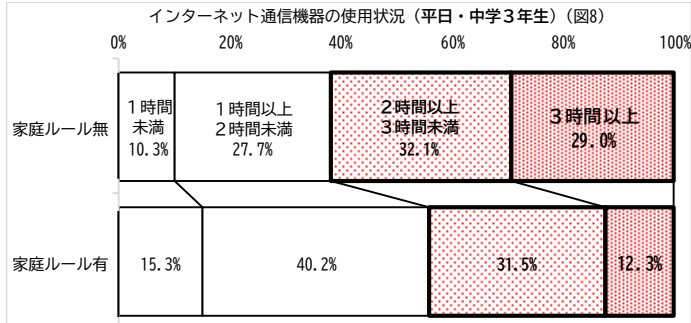


- ・家庭で何らかのスマホ等の使用ルールを設定している割合は78.8%(図6)
- ・家庭での主なルールは、「個人情報の投稿・公開の禁止(45.9%)」、「人を傷つける内容の書き込みの禁止(44.8%)」、「使用時間の制限(38.5%)」、「困ったときは大人に相談する(37.7%)」。(図7)

家庭のルールづくりの重要性について

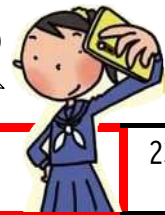
ネットトラブルの未然防止には家庭のルールづくりが非常に重要です。今回のアンケート結果から、家庭のルールづくりの重要性が分かりましたので、中学3年生の状況をもとにお知らせします。

スマホ・ゲーム等の長時間使用



- ・スマホ等のルールがない家庭では、子どものスマホ・ゲーム等の長時間使用が顕著になります。特に、61.1%が2時間以上、そのうち29%が3時間以上、平日にスマホやゲームを使用しており（図8）、家庭学習の時間や睡眠時間が確保できず、学力や日常生活に影響が出る懸念があります。（図10）

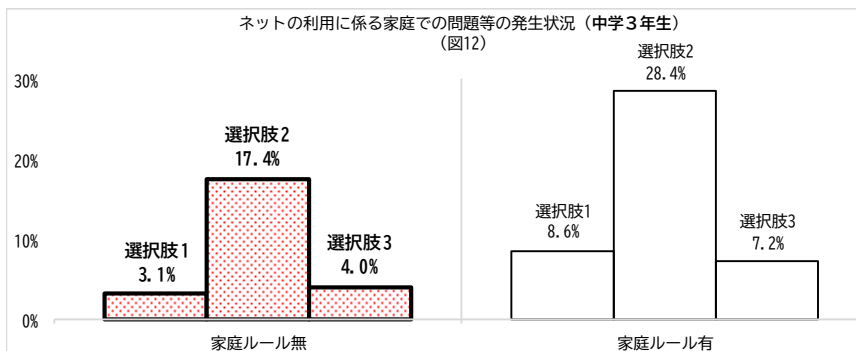
勉強する時間あるかな？
寝る時間は？



〔平日にスマホ・ネット等を3時間使用した場合〕（図10）

8時 登校	学校生活	18時 帰宅	19時 夕食等	20時～23時 スマホ・ゲーム等	23時～ 就寝
----------	------	-----------	------------	---------------------	------------

問題意識や危機意識の低下



- ・選択肢1：夜遅くまでLINE等の連絡が入り返信が大変だった
- ・選択肢2：スマホ等のやりすぎで勉強時間が減った
- ・選択肢3：スマホ等を常に触っていないと落ち着かなくなった

- ・ルールがない家庭では、スマホ等を長時間使用しているにも関わらず選択肢のような困り感が少なくなっております。この背景には、ルールがない家庭の子どもは、スマホ・ゲーム等の使用に関する問題意識や危機意識が低くなることが考えられます。（図12）
- ・またルールがない家庭では、SNS（Tiktok、Twitter、Instagram等）の利用が多くなることがアンケート結果から分かりました。
- ・子どものSNSでの発信が、犯罪被害やいじめ、プライバシー上の問題等の思わぬネットトラブルにつながる懸念があります。